

【地区の魅力】

北西部は住宅主体の落ち着いた市街地が矢坂山、京山を囲んでおり、大安寺などには歴史的集落が立地する。

J R瀬戸大橋線の沿線は土地区画整理事業によって形成された統一感ある市街地が主体であり、一部の道路が並木道として整備され、地域景観のアクセントとなっている。

旧操車場跡地周辺は西部新拠点として、新駅整備とともに市の新たな広域都市機能の拠点となる市街地整備が進んでいる。

旭川の河岸には「御船入り」や「水制」などの歴史的遺構が残されている。

【地区の課題】

国道2号、国道30号や、国道180号西バイパス、県道岡山港線等の主要な幹線道路沿道において、秩序ある沿道景観の形成を図っていく必要がある。

住宅地としての環境を整えていくとともに、京山・矢坂山周辺や岡山港周辺などの住宅地の良好な環境を維持し、魅力を高めていくことが望まれる。

新たに開発が進む西部新拠点においては、地域の核となる個性ある都市空間の整備を図っていく必要がある。

【景観づくりの目標】

緑豊かな住宅地景観や幹線道路沿道の活気ある市街地景観を創出するとともに、西部新拠点など拠点となる地区を際立たせ、岡山市の未来へ引き継ぐべき新たな景観づくりを目指す。

【地区の魅力となる景観資源】



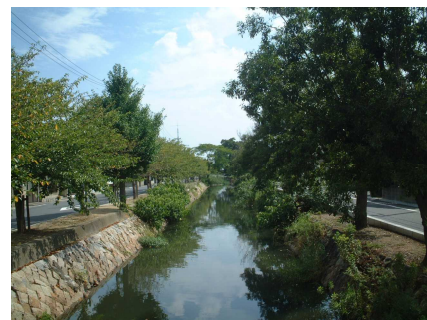
大安寺地区の歴史的集落



J R大元駅西側の並木道



新市街地内の社寺（宗忠神社）



景観資源としての住宅地の用水路



ケレップ水制が残る旭川



新たな顔づくりが進む西部新拠点

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 良好な住宅地景観を形成する	計画的市街地の良好な景観を守る。
	矢坂山・京山山麓の落ち着いた住宅地の良好な景観を守る。
	緑豊かなゆとりのある住宅地を形成する。
2. 西部新拠点の個性のある都市空間を形成する	新拠点にふさわしい魅力的な都市景観を創造する。
	周辺の景観と調和した都市空間を形成する。
3. 幹線道路の沿道景観を修景する	屋外広告物の形態・意匠をコントロールする。
	緑豊かな美しい沿道景観を形成する。
	個性ある道路景観を形成する。
4. 歴史的景観を保全、活用する	大安寺地区などの歴史的な街並みを守り、活かす。
5. 旭川、笹ヶ瀬川の水辺空間を活用する	河川のアメニティを高める。

図 景観づくりの方針

